

第101回 二科展 第61回 広島巡回展



■会 期	平成29年1月3日～8日		
■会 場	広島県立美術館 地階県民ギャラリー		
■展示数	【絵画】	120点	(地元 22点)
	【彫刻】	14点	(地元 4点)
	【デザイン】	129点	(広島 16点)
	【写真】	316点	(広島 173点)
	合計	579点	(広島 215点)

昨年100周年の節目を終えた二科展、今年は新たなスタートの年である。広島巡回展も61回を数え、正月の3日にオープンした。

今回は会期の関係で、立付展示は年末の28日に終え、初日はゆったりとした開会式を迎えられた。今年の出展数は巡回作品に地元215点を加えた4部門579点の展示。6日間で6,708人の来館者をお迎えした。

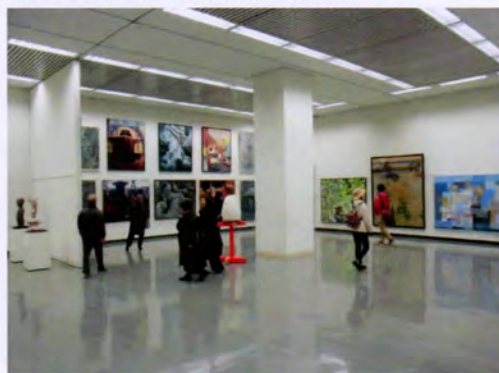
二科は絵画、彫刻、写真、デザインの合同展示が特徴。展示の華やかさと多数の来館者で新しい年が始まったという広島の展覧会でした。

展示会場（絵画）



会場風景（絵画）作品批評会

今年は本部より西理事(鹿児島)にご来場いただきました。恒例の作品批評会には支部同人だけでなく多く来場者も参加し、熱心に作品批評に耳を傾けていた。



展示会場（彫刻）

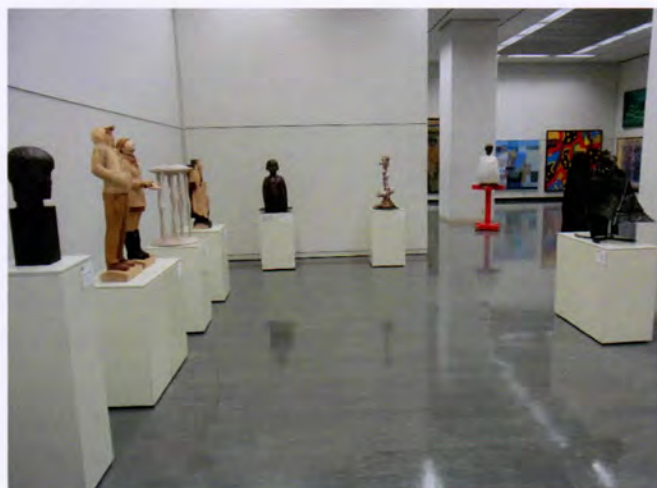


会場風景（彫刻）

彫刻の展示コーナーは独特な落ち着いた空間を作っています。新しく参加した若い地元作家の作品は独特の作風で、新しい空気を感ぜさせていた。

会場風景（絵画）2点入選の展示コーナー

巡回作品の内、特別賞の2点入選作品は特別にコーナーを設けています。今年は地元作家2名が特別賞ではないものの2点入選を果たし、同コーナーに展示しました。支部同人の奮起に期待。

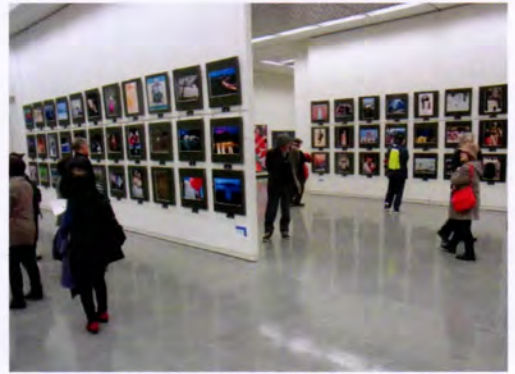


展示会場（写真）



会場風景（写真）

出品者が多い写真部。終日、大勢のギャラリーがおとづれる。毎年のところであるが、作品の3段掛も大変である。



展示会場（デザイン）

会場風景（デザイン）

デザインの展示は毎年美術館の講堂で行っている。展示パネル設営から始めるので大変。他の部協力もあり今年も良い展示ができた。若いデザインの作家の展示は二科らしい明るさにあふれていた。



今年の広島展祝賀会は初日が1月3日であった為、7日(土) JALシティ広島で行われることになった。

地元来賓者、二科会本部より西先生のご出席を賜り、写真部の鳥越会員の総合司会の元、地元授賞式、続く懇親会は和やかに行われました。

本部の先生方とあまり接する機会がない地元の同人にとって、西先生との懇親や激励のお言葉はこれからの励みになったことでしょう。



祝 賀 会

■巡回展後援賞

○広島県知事賞

有田 亜未【デザイン】（特別テーマ「世界遺産」ホスター）

○広島市長賞

三木 園子【写真】「紺碧の埠頭」

○中国新聞社賞

神田 珠生【絵画】「ガラスの向こう側」

○広島県教育委員会賞

野路 育子【彫刻】「たたずむⅡ」

○広島市教育委員会賞

田原 馨【絵画】「森・生きる16-3」

○広島市文化財団賞

山上 伸夫【写真】「深海の群れ」

○広島国際文化財団賞

森本 啓子【絵画】「C心地よい時～ボサノワア～」

○ひろしまインターネット美術館賞